

# 個別事業計画書

所管部署：土木建築部 道路河川課

(単位:千円)

事業名	道路新設改良事業	細事業名		新継区分	継 続	
総合振興計画 の位置づけ	第3章 人・物・情報を高度につなげる	根拠法令等	道路法			
	3 安全で快適な主要道路でつなぐ					
	(2)地域幹線道路					
事業実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	安全で快適な道路の整備は、暮らしの利便性の確保や過疎集落の維持等に関わる重要施策であり、過疎化防止や新たな街づくりに繋げる道路としての機能整備と合併に伴う市域の一体性を確立するための整備が必要。	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成 20 年度	南丹市道の新設・拡幅・舗装道路計画に伴い道路改良事業を実施及び府道等の整備並びに整備促進を図る。 ・本郷垣内線他 18路線 ・主要地方道亀岡園部線他 14路線	道路新設・拡幅・舗装事業に伴う主な内訳 ・道路改良・舗装工事 1式 ・測量設計業務委託他 1式 ・公有財産購入及び補償 1式	438,587
具体的な実施内容	府道及び幹線市道については市域の一体性を確保するため、利便性の向上と災害に強い道づくりを進める。また、その他の市道については生活道路としての利便性、安全性の確保に向けて、地域の実情に応じた整備を進める。 ・臨時交付金事業 2路線 ・地方特定道路整備事業 4路線 ・過疎対策事業 5路線 ・その他道路事業 8路線 ・京都府道路整備事業 15路線		平成 21 年度	南丹市道の新設・拡幅・舗装道路計画に伴い道路改良事業を実施及び府道等の整備並びに整備促進を図る。 ・本郷垣内線他 18路線 ・主要地方道亀岡園部線他 14路線	道路新設・拡幅・舗装事業に伴う主な内訳 ・道路改良・舗装工事 1式 ・測量設計業務委託他 1式 ・公有財産購入及び補償 1式	450,000
事業の目的	地域の実情に応じた市道・府道の整備改良に努め、生活道路の安全性、利便性の確保に向けた既設道路の整備を推進し、地域道路・広域道路等の整備を計画的に進める。		平成 22 年度	南丹市道の新設・拡幅・舗装道路計画に伴い道路改良事業を実施及び府道等の整備並びに整備促進を図る。 ・本郷垣内線他 18路線 ・主要地方道亀岡園部線他 14路線	道路新設・拡幅・舗装事業に伴う主な内訳 ・道路改良・舗装工事 1式 ・測量設計業務委託他 1式 ・公有財産購入及び補償 1式	450,000
事業の効果	道路の安全性・利便性の向上により安心・安全で快適な生活環境基盤が整えられ、更には地域経済の発展と地域活性化を図ることが出来る。					